

英語科学習指導案

日時：令和 年 月 日

学校名：

展開学級： 年 組

授業者：

1. 単元名 Our Project 4 「夢の旅行」を企画しよう (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2. 単元の目標

- (1) 未来の表現 (will) や think (that) などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「夢の旅行」というテーマのスピーチを聞き取る技能を身に付けることができる。〔技能〕【知識及び技能】
- (2) 自分たちの「夢の旅行」について伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチすることができる。【思考力, 判断力, 表現力等】
- (3) 既習の単語や文法事項を使い、自分たちが伝えたい内容を適切な英文にして表現することができる。
【思考力, 判断力, 表現力等】
- (4) 自分たちの「夢の旅行」について伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチしようとする。【学びに向かう力, 人間性等】
- (5) 既習の単語や文法事項を使い、自分たちが伝えたい内容を適切な英文にして表現しようとする。
【学びに向かう力, 人間性等】

3. 単元について

(1) 単元観 本単元では、「『夢の旅行』を企画しよう」と題し、夢の旅行を企画する活動を通して自国または他国の良さに触れること、そして国際理解につなげていくことを目的とする。また、既習の単語や文法を使ってプレゼンテーション活動の準備を行うことで、英語の理解を深めることが可能である。指導においては、学習指導要領外国語第2章第2節1目標(4)話すこと〔発表〕イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」に重点を置いて指導を行う。

企画内容を提案するために、設定した国について調べ学習を行う必要がある。その国の観光スポットや有名な食べ物などについて調べる際、その国の文化や歴史的背景について触れさせることも可能である。そこで、生徒が本単元の「夢の旅行」を企画・提案する目的・場面・状況を、「修学旅行で行きたい国を紹介する」こととする。自分が行きたい国に、クラスの友達も行きたくなるようにその国の特色や有名な観光地について調べ、同じ中学生に英語で伝えるという目的をもって取り組むことができると考える。

既習の文法事項については、Program 1～3 の中で、未来の表現、接続詞 (that/ when/ if) , 助動詞 (must/ have to) , 不定詞と動名詞について学んできた。また、学習内容を前後し、Program 4 の比較級についても学習済みである。1年生の段階で習った内容も合わせると、十分な内容の文章を作ることができるため、工夫して伝える内容を整理すること、そして自分の力で意欲的に企画内容を伝えようとする態度を育成することを意識し、本研究会の外国語教育研究テーマである「学びのつながりを意識した、『伝える力』をのばす指導と評価」につなげたい。

(2) 学校研究主題と英語科研究主題との関わり 本校の研究主題は、「基礎学力を定着させる指導法の工夫～PDCA サイクルを意識した指導と評価の一体化を目指して～」である。振り返りを行うことで生徒自身に自らの習熟度に気付かせ、自ら学習を調整することで、基礎学力を定着させることを目的としている。この研究主題を受けて、英語科の研究主題を「語彙知識や文法などの基礎学力を定着させる指導の工夫～ICT を活用した自主的な振り返りで学習内容の定着を図る～」と設定した。千葉市中学校の生徒が貸与されている Google Chrome 端末（以降、「ギガタブ」）を活用し、定期的な振り返りを行い、自らの英語の誤りに気づき、改善する力、また改善しようとする態度を育てることで基礎・基本の定着を目指している。また、本校では今年度、「ICT を活用して自らの習熟度を客観的に確認することで、より適切な英語を用いて表現することができるだろう」という仮説を立てて授業実践をしている。本単元においても、特に口頭のみ活動部分においては、自分と他者からのフィードバックがないと改善されにくいと考える。ギガタブの録画機能を使い、自分自身の発表の様子や、産出される英語を観察し、習熟度を測り改善する機会を意図的に作ることで、語彙知識や文法などの基礎学力を定着させたい。

4. 生徒の実態

4. 単元の評価基準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	(W/ Sp) ・ 修学旅行で行きたい国のことを分かりやすく伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチしている。 ・ 既習の単語や文法事項を使い、自分たちが伝えたい内容を適切な英文にして表現している。	(W/ Sp) ・ 修学旅行で行きたい国のことを分かりやすく伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチしようとしている。 ・ 既習の単語や文法事項を使い、自分たちが伝えたい内容を適切な英文にして表現しようとしている。

5. 単元の指導計画

時配	学習内容	知	思	主	資料・備考
1	○教科書のモデル確認（リスニング） ○End-Product を示す ○班ごとに「夢の旅行」の国決め（マッピング）	記録に残 す評価は行 わない。ただ し、狙いに即 して生徒の 活動の状況 を確実に把 握し、指導に 生かす。			・教科書 P.39～ ・ Google Slides ・ Google Jam Board ・ ルーブリック ・ 国のリストと写真
2 3	○スライド作成開始（作成時のルール確認）				・ Google Slides
4 本時	○スライドを班員同士で確認し、内容と文法のフィードバックを行う				・ 文法チェックシート ・ ルーブリック ・ Google Slides
5	○2班で発表し合い、フィードバックを行う				・ Google Slides ・ ルーブリック
6	○発表 ○全体を通して振り返る			○	○

7. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・既習の単語や文法を工夫して使い、自分たちが伝えたい内容を適切な英文に修正することができる。
【思考力, 判断力, 表現力等】
- ・既習の単語や文法を工夫して使い、自分たちが伝えたい内容を適切な英文に修正しようとしている。
【学びに向かう力, 人間性等】

(2) 本時の展開

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◇評価の観点
挨拶 2分	○挨拶 T: “Good morning, everyone.” S: “Good morning, Mr Kato.” T: “How are you today?” S: “I’m ~.” T: “What day is it today?” S: “It’s ~.” T: “What’s the date today?” S: “It’s ~.”	・英語を学習する雰囲気を作る。
帯活動 7分	○英文修正トレーニング-4 ・ギガタブで問題演習に取り組む。	・全員が取り組むよう促す。
目標 1分	○本時の目標を提示する。	・プリントの Goal に記入させる。
	学習目標：仲間のスライドを修正して、発表内容を改善しよう。	

<p>展開 30分</p>	<p>○Google Slides のスピーカーノートを修正する方法を確認する。</p> <p>“Today, we are going to check slides of your friends.”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修正項目が書かれたプリントを確認する。 ・ループリックを確認する。 <p>○修正する時のルールを確認する。</p> <p><ルール></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 修正する部分は、消さないこと。 (2) 赤色で正しい表現を打ち込むこと。 (3) 語数や表現についてはコメントする。 <p>○修正する方法を確認する。</p> <p><方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1枚を全員で確認, 修正する。終わったら次のスライドを修正する。 ・必ず声をかけあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に、聞き取りやすい速度で説明する。 ・プリントに修正方法を箇条書きで記載し、確実に確認する。 ・Google Slides で<ルール>を画面に表示して確認する。 <p>(1)~(3)は実際に見せながら説明する。</p>
	<p>○活動を開始する。</p> <p>○修正の良い例を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が提示する, クラスメイトが行った修正をテレビ画面で確認する。 	<p>◇既習の単語や文法を工夫して使い, 自分たちが伝えたい内容を適切な英文に修正することができる。【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に生徒の文法上のミスや, 別の言い回しがあるかどうかの確認をしておき, 机間指導で修正するよう促したうえで取り上げ, 学級全体に周知する。
<p>まとめ 5分</p>	<p>○Google Form「本時のまとめ」に回答する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に以下の内容について振り返りを行う。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 既習の文法事項を理解し活用できたか。 (2) 伝えたい内容を英語で表現できたか。 (3) 単語数や文の量は足りていたか。 (4) 今回の班員同士のチェックで, 発表内容は改善されたか。 (5) 班員の原稿を修正することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が回答し, 送信できているか確認し, 支援が必要な生徒については, 操作を丁寧に指示する。 <p>◇既習の単語や文法を工夫して使い, 自分たちが伝えたい内容を適切な英文に修正しようとしている。【学びに向かう力, 人間性等】</p>

(3) 本時の評価

- ・既習の単語や文法を工夫して使い、自分たちが伝えたい内容を適切な英文に修正している。

【思考・判断・表現】

A	B	B に満たない場合の支援
・伝えたい内容に合うよう、より良い表現をグループの仲間に提案している。	・文法的な誤りに気付き、修正している。	・文法的な誤りに気付けるよう、声かけをする。 ・使わせたい既習の文法を改めて確認する。

- ・既習の単語や文法を工夫して使い、自分たちが伝えたい内容を適切な英文に修正しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

A	B	B に満たない場合の支援
・伝えたい内容に合うよう、より良い表現をグループの仲間に提案しようとしている。	・文法的な誤りに気付き、修正しようとしている。	・文法的な誤りに気付けるよう、声かけをする。 ・使わせたい既習の文法を改めて確認する。